

平成23年度( 自 平成23年4月 1日 )事業概要  
 至 平成24年3月31日

1. 大学院生および大学生、短大生、高専生、留学生に対する学資金の貸与。

(1) 本年度は下記のとおり奨学生を採用し、4月分から奨学金を貸与した。

学校別人数		貸与額(月額) 円	備 考
大学院生	1名	50,000	
大学生	13名	50,000	
高専生	0名	50,000	4-5年生
留学生	7名	50,000	
計	21名		

(2) この結果、前年度より引き続き貸与する者と合わせて奨学金を貸与した者は下記のとおりであった。

	本年度新採用	前年度より継続	計
大学院生	1名	5名	6名
大学生	13名	55名	68名
高専生	0名	1名	1名
留学生	7名	6名	13名
計	21名	67名	88名

2. 研究助成

(1) 東京大学、新潟大学工学部、新潟大学医歯学総合研究科、長岡技術科学大学、新潟工科大学、長岡工業高等専門学校等に研究テーマを委嘱して推薦を受けたうちから、次の研究に対して各600,000円を限度とし、総額8,000,000円の助成金を交付した。

- ① 研究者 東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 後藤 晋  
研究題目 燃材生産と保健休養機能に優れた先進的な森林管理手法の機能・技術・社会的評価
- ② 研究者 東京大学総合研究博物館 准教授 池田 博  
研究題目 奇妙な種内倍数性を示すオトコエシ(*Patrinia villosa*)に関する系統地理学的解析
- ③ 研究者 東京大学大学院理学系研究科附属植物園 助教 東馬 哲雄  
研究題目 日本列島におけるオオバウマノスズクサ群の多様化の研究
- ④ 研究者 新潟大学工学部 教授 山内 健  
研究題目 生物模倣技術を利用した環境低負荷材料の機能設計
- ⑤ 研究者 新潟大学工学部 教授 谷口 正之  
研究題目 米由来ベータアミロイド産生酵素阻害成分の精製とその反応機構の解析
- ⑥ 研究者 新潟大学大学院医歯学総合研究科 講師 山口 賢一  
研究題目 脳内ノルアドレナリン $\beta$ -受容体に媒介される心臓拍動上昇機構の解明
- ⑦ 研究者 長岡技術科学大学 准教授 湯川 高志  
研究題目 技術文書の特許分類体系への自動分類システムに関する研究
- ⑧ 研究者 長岡技術科学大学 准教授 高原 美規  
研究題目 コケ原糸体大量培養を用いた建物緑化用コケ種苗生産法の開発
- ⑨ 研究者 新潟工科大学 教授 山崎 泰広  
研究題目 コールドスプレー耐食コーティング超合金の熱機械疲労強度とその特性向上
- ⑩ 研究者 新潟工科大学 准教授 佐藤 栄一  
研究題目 小型水力発電機の電力合成に関する検討
- ⑪ 研究者 長岡工業高等専門学校 准教授 柴田 勝  
研究題目 樹木の生育戦略としてのオルガネラネットワークによる光合成の維持機構
- ⑫ 研究者 長岡工業高等専門学校 助教 床井 良徳  
研究題目 高速ナノ粒子ガンによる新規薄膜作製技術の確立

- ⑬ 研究者 東京大学演習林  
研究題目 富士癒しの森研究所プロジェクト

### 3. 奨学生集会

奨学生の研修指導の目的をもって、8月24日～25日(1泊2日)の日程で開催した。  
来賓による講演会や、環境保護活動と森林の役割を楽しみながら理解するための  
森林保護活動および奨学生同士の親睦会を実施した。  
内容は次のとおりである。

参加学生 38名

#### 実施内容

1日目	全国各地より本部に集合
	【奨学事業についての理解】
	財団の概要説明
	職員との懇談と学生の近況報告
	【講演会と懇談会】
	講演 理化学研究所 計算科学研究機構
	副機構長 米澤 明憲 氏
	世界最高速のスーパーコンピュータ「京」の開発とその利用・効果
	【資料館の見学・遊歩道の散策】
【奨学生同士の懇親会】	
2日目	【環境保護活動への理解】
	杉林と周囲の環境保護活動体験
	杉の枝打ちと林間の下草刈り
	本部から貸し切りバスにてJR長岡駅に向かい解散

奨学生集会参加者には貸与奨学金年額の内、2ヵ月分の返還を免除した。

#### 4. 奨学金の返還

奨学金の返還者は下記のとおりであった。

大学院生奨学金返還者	28名
大学生奨学金返還者	155名
短大生奨学金返還者	6名
高専生奨学金返還者	5名
高校生奨学金返還者	9名
留学生奨学金返還者	47名
計	250名

#### 5. 郷土資料館の運営

本年度も資料を整理、引き続き蒐集展示、奨学生および一般の観覧に供した。

観覧者 410名

資料館に付随する庭園および遊歩道の整備と改修を行った。

#### 6. 不動産運営

不動産部として世田谷に一棟共同住宅を運営しており、その利益を本部に繰り入れ事業運営に充当した。

#### 7. その他

機関誌「山びこ」第44号刊行、奨学生および元奨学生に配布した。